

2月24日よりおこなわれているロシアによるウクライナへの軍事侵攻に大阪きづがわ医療福祉生活協同組合は全面的に反対します。ロシアの軍事侵攻は「武力行為の禁止」を義務づけた国連憲章に違反し、市民を巻き込みいのち・くらしを奪うことにつながり絶対に許されるものではありません。医療福祉生協は平和で公正な社会を目指し実現するために「戦争反対」の声をあげ続けます。

また、この世界的な危機に乗じた改憲を許さず、平和憲法である憲法9条を活かし、過去の経験から戦争によって二度と血を流さない、流させない、そして戦争をさせないことをわたしたちは求めます。

「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくり」を実現するために医療福祉生協は全ての戦争行為に反対します」

理事長 別所 義正
専務理事 木村 準司

抗議宣伝をする職員・組合員さんたち

医療費の支払いでお困りの方一度ご相談ください 必要な診察・治療を受けていただく事が何よりも大切です

無料低額診療事業 実施診療所

・みなと生協診療所・たいしょう生協診療所(医科・歯科) TEL.06-6571-5594 TEL.06-6554-1197(医)/TEL.06-6554-8841(歯)

・ながほり通り診療所・西成民主診療所 TEL.06-6533-0106 TEL.06-6659-1010

ママ・ちょこ 73

登校拒否・社会的ひきこもりからの回復・自立への支援のあり方を考えよう

1月16日、「どの子も自分の力で立ち上がり歩き出す」～登校拒否・社会的ひきこもりから回復・自立への支援のあり方～と題してNPO法人おおさか教育相談研究所の甲斐真知子さんの講演と無料相談会を大正晴ればれで行い、22人の方が参加されました。

登校拒否や社会的ひきこもりは自分を守るための行動で、この時間に新たな自分づくりをしている「積極的な意味がある」ということに教師や親、地域の大人は信頼してあせらずじっくり向き合うことが大切と教員時代の経験なども交えながら話されました。

社会(国)は大企業の利益を優先して働く人の賃金を抑え込む政策をとり、貧困と格差を増大させてきました。学校も教育の目的が「人を育む教育」から「企業の人材育成へ」と教育行政・教育政策が変わってきたことで若者たちの「生きづらさ」を生んでいる。とても大事なことを学んだように思います。

登校拒否や社会的ひきこもりの要因は学校や社会にあり、けっして自己責任ではないこと、そしてその社会は「変わるし、変えられる」ことをあらためて考えさせてもらった貴重な時間でした。

組合員活動部 石村 直志

編集部
だより

雪が残る山へいざアタック

良い季節になってきましたね。外にいと暖かくて芝生の上でごろんとしたくなる衝動にかられます。さて昨年の健康チャレンジで山登りのことを書きましたが、その時だけで終わらないのが私の良いところ(笑)。今回は兵庫県の六甲山へ。前回の太文字山よりも心臓がバクバクとなりながら頂上を目指します。阪急芦屋川駅から住宅街を抜けるとすぐに山道へ。岩場などを抜け、頂上に近づいていくとちらほら残った雪が。「良いな」と思っていたのは最初だけでどんどん雪が増える、足場が凍っている、滑る、こけるを繰り返しながら頂上へ。頂上まで行くと一面の銀世界、もはや冬景色。そして下りはさらに凍結した道が進む足を鈍らせます。(聞いてないよ)と心の中でつぶやきながらなんとか下山。コロナでどんどんアクティブになっていく私の趣味。次回ぐらいにはソロキャンプもデビュー出来るかな…。

みなと生協診療所 田路 耕平

114
今月のいちまい

登頂成功

理事会報告

第9回 理事会

日時 2022年2月19日[土]午後2時30分～5時

場所 WEB開催

出席 理事 23名/27名中、監事 1名/3名中

常務会議事・主要項目 協議事項

(1)常務会議事

- 1 新型コロナワクチンの対応
- 2 港での建設について
- 3 法人事業管理運営に関して・体制の確立
- 4 新春互礼会 1月8日(土)
- 5 中期計画の策定と10周年の到達確認
- 6 総務事項

(2)2021年度 全国四課題目標

(3)医療福祉生協連・民医連・法人共通の課題 全日本民医連総会 2月25日～26日

(4)総代会準備 6月19日(日)午後1時 開会 阿倍野区民センター大ホール

(5)2022年度の予算づくり進捗

第9回定例理事会 協議承認事項

- 1号議案:1月度の事業収支結果
- 2号議案:みなし自由脱退
- 3号議案:100万円以上購入の件

各報告承認事項について

- ①事業に関する報告
- ②2項組合員の加入
- ③委員会活動…各エリアの活動報告
- ④社会保障・原発・震災支援の取組

次回 常務理事会…3月9日[水] 本部事務所 午後3時～

理事会日程…3月19日[土] 午後2時30分～5時 WEB開催

復活!!

医 福 食 住

みらいの窓

これが医療福祉生協の魅力

ながーいお付き合い

親子と歯科と一緒に

2021年10月に、第1回親子オンライン企画きづkidsが開催されてもう半年になります。その後も回を重ね、沢山の方に楽しんでいただいている事と思います。

歯科の回では歯が生えそろえかけた幼稚園・小学校低学年ぐらいの方を対象にお話をさせていただきました。講師は歯科衛生士の高本亜由美さん。質問コーナーも



含め約1時間があっという間ででした。その時のお話の一端をまとめましたので、ご一読ください。また機会があれば開催したいと思います。

歯ブラシの選び方と親子一緒にブラッシング

昨今歯ブラシはたくさんの種類が出回り、どれを選ぶかと悩んでしまいます。まだ歯周疾患になっていない子供さんは、気分が上がって毎日歯磨きがしたくなるような歯ブラシで、コスパのいいモノを選んでください。子どもの手先はまだまだ不器用です。それと、お口の中も小さいのでネックの長いものは誤って喉を突いてしまう恐れがあるので注意しましょう。ヘッドが大きすぎたり硬すぎるのも歯ぐきを傷つけるので避けましょう。何より、1日に1回は



一緒にじっくり、しっかり磨いて最後は保護者の膝の上にゴロンと仰向けに寝てもらってからの仕上げ磨きが大切です。このスキップは子どもさんの成長にも大切な時間だと思っています。

おやつ工夫してますか？

おやつの工夫で虫歯予防という観点から言えば大人も子供も一緒です。時間を決めたり量を決めるのは生活習慣病予防にもつながります。お菓子の食べカスが歯の隙間に残るモノほど美味しいものが多いように思います。メリハリをつけて食べましょう。食後に歯磨きができない場合はお茶を飲むなどの工夫をしましょう。特に生活

習慣病予防のためにもダラダラと食べ続けるのは、大人も子供もNG。子どものころからの習慣をつけてあげましょうね。

歯医者さんには定期的にいきましょう

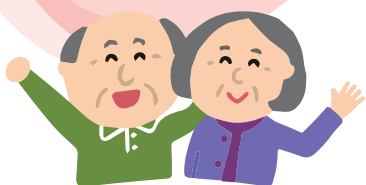
歯医者さんは痛くなった時だったり、学校検診で何かしらの指摘された時に行く所...と思われがちですが、もっと歯医者さんを活用していただきたいのが歯科からの要望です。食生活も様々なものにあふれ、虫歯リスクのみならず、若年層の歯周疾患も増えてきています。1年に1回は歯石取りや検診を受けることで、いつまでも美味しく食べ続けられるお口の環境が整います。人生100年と考えると乳歯は一般的に10年そこそこで抜けますが永久歯はその後の90年頑張ります。すごい守備範囲ですね。たいしょう生協歯科も100年お付き合いできる歯科を目指します。

たいしょう生協歯科 事務長
榎田 裕士

オープン間近!

夢ぷらん

再度の増資のお願い



介護複合型施設「いそじ」のオープンがいよいよ間近に迫っています。5月の事業開始に向けて建物も含めて着々と準備が進んでいます。これまでたくさんの方に建設に向けての増資活動に取り組んでいただきました。そしてそのおかげもありオープンまで残

り一か月となりました。新施設は大阪きづがわ医療福祉生協の全組合員の希望を託してスタートします。またオープンしてから何十年と皆さんに使いつけてもらえる施設になることを目指しています。改めて建設増資へのご協力をよろしく願います。



道路からも建物が見えるように！



住所も決まりました！

委員会通信

第3回

事業所利用委員会

院所事業所利用委員会は職員と地域組合員で構成した委員会です。法人利用委員会は3か月に1回、各エリアの利用委員会は毎月、会議をしています（コロナ禍で中止するときもあります）。委員会は診療所や介護事業所を



虹の箱と医療介護評価アンケート集約分



ご利用されている皆さん、組合員さんの声をお聞きし、事業の質を向上させる役割を担っています。

患者さん、利用者さんの声を聞かせていただくために、「虹の箱」を診療所待合室に設置しています。また、組合員さん宅にお伺いしたり、お電話をかけた際にもご意見を伺っています。寄せられたご意見につきましては、真摯に受け止め、院所事業所利用委員会で医療・介護の現場の苦勞や悩みも理解した上で「どのような改善ができるか」職員と地域組合員が互いの知恵を出し合って検討しています。その検討した内容もお返事させていただきます。西成民主診療所では待合室に「お寄せいただいたご意見への回答」として掲示しています。

ぜひ、今後みなさんのご意見・感謝のお気持ちなどをお寄せいただきますよう、よろしくお願い致します。



大阪きづがわ医療福祉
生活協同組合は、2022年度
こんな一年をめざします

いつまでもこの地域で 誰もが健康で居心地

健康づくり・
まちづくり

1、感染予防を継続しながら、 健康づくり・まちづくりの動きを大きく進めます

- 様々なつながりで支えあう—
多様な結びつきをさらに
拡充しながら、リアルな
結びつきも取り戻します
- 地域まるごとの
健康づくりをすすめます
- 生協らしい助け合いの
輪を広げます



ウォーキングにいきました!



有償ボランティアの活動

ひとづくり

3、地域で、事業所で、 ともに育つ人づくりをすすめます

- 医師をはじめとした専門職の
確保と成長を図ります
- 様々な学びを通じて、地域の願いに
こたえられる生協組織をつくります
- 地域組合員と職員とが経験を共有し、
ともに成長していきます



高校生1日医師体験の
受け入れ



大阪民医連社保ピース
セミナーに職員が参加



大阪きづがわ医療福祉生活協同組合
2022年度総代会方針案・
ダイジェスト版

人権と公正の立場で よくくらせる まちづくりに挑戦する

事業
医療と介護

2、「総合力と連携」で、 地域で求められる役割をにない、 健康とくらしを支える事業の強化を図ります

- 地域での役割として在宅での
くらしを支える事業を強化します
- 全職員と組合員参加の経営で、
経営基盤を強化します
- 連携・組合員参加で医療・介護の
質の向上をめざします



感染防護着での診察



夢ぶらん訪問行動

社会への
働きかけ

4、平和で公正な 社会づくりに貢献します

- 平和を守り、憲法を守る
取り組みを重視します
- 持続可能な世界をつくる
具体的な行動を進めます
- 社会保障の充実をもとめ、
個人の人権が尊重される
社会をつくっていきます



平和行進に毎年参加しています

いのちの相談所活動として
相談日を設定しました



		3		1	2		
	1			5			4
2			4		7		5
7		5			8		6
1				6			
			9		4		7
	3					8	
		7	6		9		

あなた様の体操
ナンバープレース

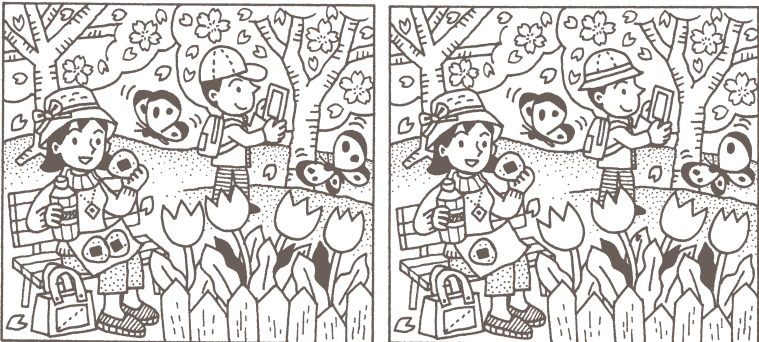
タテ・ヨコの同列内、太枠のブロック内に同じ数字が重ならないよう、1～9の数字をつめましょう。二重枠の数字の合計を答えてください。

●2022年2月号のナンバープレースの答えは【9+7=16】でした

左の絵は右と7ヶ所の
まちがいがあります。

どこ？どこ
まちがいさがし

まちがい7ヶ所



2月号の
こたえ

応募総数91名で
正解者89名でした。

2月号の当選者 20名

図書カード当選者は発送をもって発表
に替えさせていただきます。
抽選は毎月第一月曜日に行っています。
見学されたい方は、ご一報の上、お越し
ください。

【ハガキ 応募方法】
解答イラストを切り取り、ハガキに貼って
下記住所までお送りください。

【メール 応募方法】
解答画像を添付の上、下記アドレスま
でメールをお送りください。

※ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、今号の記事への感想やご意見、近況などをお書き添え
ください。また、ナンバープレース・まちがいさがしのどちらを解答していただいても構いません。

正解者の中から抽選で20名の方に図書カード(500円)を進呈!

郵便番号は正確に
〒556-0024 塩草2-2-31
大阪きづがわ生協「みらい」係
mirai1@osaka-kizugawa.coop

応募先

どしどし応募
お待ちしております

4月末日 必着

職員募集

求人詳細は当生協ホームページにて
<http://www.osaka-kizugawa.coop>
各事業所又は本部(06-4394-8500)まで

●看護師 ●ケアマネジャー ●介護スタッフ
●理学療法士 ●介護福祉士 ●送迎スタッフ
●作業療法士 ●訪問介護員(ヘルパー) ●運動トレーナー
●歯科衛生士 ●事務員 ●リハビリ助手

投稿者からの俳句

金婚日 ワクチン接種 梅香る

かなえ

西成区 北島 福恵さん

西区 手塚 祐子さん

最近、息子が出場する卓球の試合を観覧席から応援する事が私の元気の源です。

のでした。懐かしいです。これからのママさんたちのためにも続けていただきたいです。間違い探しは、小学生の息子が一生懸命見つけてくれました！私は3つしか見つけられず断念。親子で楽しませていただきました。ありがとうございました。

2月号で募集したテーマ
花見の季節、花より団子?

●昔は「花より団子」でしたが、今は「団子より花」です。お出かけもなかなか出来ないのので、家に少し花を飾ったりして、季節を感じています。花のある暮らし、贅沢な気分です。

●花より団子ですね。お花見は大好きですが、お花見に伴う宴会が好きなのは。お花は満開でなくても散りかけてもいい！外で食べるとなんでも美味しい。しばらくお花見宴会がで

きてないので、早くできるように頑張ってほしいな。

●花より団子ですね。いややっぱ団子より花かな。でもやっぱり花を見ながら団子が一番ですね(笑)。

●以前は花より団子でした。近くの公園に行く時、コンビニで普段買わないようなお菓子やお酒を買い込み、飲食を楽しみました。最近はお酒もあり外出を控えていますので、去年はお花見自体しておらず、今年も華も実もない春を

過すかもしれません。

●団子より花に軍配をあげます。豪華な花見弁当がなくても散策で十分です。各地の桜便りが楽しみです。近年コロナが怖くて、地元のある公園で春を満喫しています。桜シーズンに浮かぶ言葉は古来「花より団子」ですが、お便りコーナーのテーマを見て、以前見た韓国ドラマの「花より男子」を思い出しました。

港区 上の三月さん

大正区 田所 満寿子さん

※メールでお花見を送っていた場合、住所、氏名を入力してください。
※お花見掲載は図書カード当選と関係ありません。(編集部で選んでいるため)

●寒い中にも少しずつ春をつげる花が咲き始めました。梅の花があちこちで咲き、いい香りもあり、気持ちをおだやかにさせてくれます。お花見を楽しみに待っている今日この頃です。

大正区 トモキチさん

●超高齢化社会の記事が一番気になりました。介護職員不足をどう解消するのが私たち世代の課題だと感じました。もう少しこの記事を若者に読んでもらえたらと思います。

港区 匿名希望さん

●9歳の母の認知症が少しずつ進んできました。ストレスを溜めないように、リフレッシュしながら過ごしたいです。グループホームしかぜの1日の過ごし方、参考になりました。

大正区 匿名希望さん

●3回目ワクチン予約しました。コロナ終息して、マスクをせずに外に出掛けられる日が待ち

●我家で飼っている生き物の冬。寒いペーランドで細々とけなげに頑張る二匹のメダカ。リビングのヒーターのきいた水槽で暖かい日々を過ごすミドリ亀二匹。どちらも長生きしてね。

大正区 たぬきさん

●コロナ前からのインドア派で、ウォーキングの呼びかけより図書カードに心ひかれました(健康づくり委員会コメン)。6kmは無理ですが、チョコッと歩きをコツコツと続けて、おいつけおいつけ(笑)。

大正区 片岡 きょう子さん

●友人から、クリスマスローズの種をもらい4つの芽が出ましたが、今は1つだけが4枚の葉をゆらし、細い茎でがんばって支えています

●今年で87歳になりました。リハビリ施設に通って鍛えておりますが、やはりトシには勝てない?と思う事も再々です。まあ天命を全うするまで頑張る意気ですが...

大正区 匿名希望さん

●今月初旬に母がなくなり遺品を整理していたらこの「10円ハガキ」が見つかりました。モノを大事にして1円2円のもの、当然。この10円ハガキも大事にして、数枚の「20円」ハガ

●山元町の訪問についての記事がとても感慨深く、私の震災の記憶もどこか風化しつつあったと感じました。新型コロナウイルスの予防接種の情報も、接種の予定を考える手立てとなりました。きづkidsの活動も素敵ですね。もつ子もたちも大きくなりましたが、幼い頃はこのような催しを見つけては連れて行つたも

西成区 竹田 早苗さん

●山元町の訪問についての記事がとても感慨深く、私の震災の記憶もどこか風化しつつあったと感じました。新型コロナウイルスの予防接種の情報も、接種の予定を考える手立てとなりました。きづkidsの活動も素敵ですね。もつ子もたちも大きくなりましたが、幼い頃はこのような催しを見つけては連れて行つたも

もっとひろがる!つながる!

おたより
コーナー

拡大版

今月の募集テーマは ※6月号掲載予定
【梅雨をふきとばすカラっとした話】
写真も投稿してください! (理由も教えてください)

●住み慣れた地域で自分らしく暮らす事が出来まようにと食生活に気をつけています。コロナ禍で思うように活動が出来ませんが、暖かくなれば野菜づくりに頑張ります。グループホームの方々に届けたいです。

西成区 渡辺 美保子さん

●八幡屋公園の水仙の花がとっても美しく咲いています。また桜の花のつぼみもだいぶん膨み始めています。

港区 和田 恒子さん

●手入れの行き届いてない、町内の公園の手入れをしても良いと町会長さんの許可をもらいました。草花をたくさん植えています。春は花がいっぱ咲くのが待ち遠しいです。

港区 坂本 安子さん

●グループホームはどんなのかなあと思っていたのですが、しおかぜの1日が写真入りで紹介されていたので、よく分かりました。地域の中で生活できることは嬉しいですね。

港区 廣田 千鶴子さん

●今から二十五年前、滋賀県今津にある大きな研修館の管理に主人と二人で御奉公しました。何万坪もある敷地に長いスロープの両側に桜の植樹、一段下の土手には、敷島ツツジ、紫陽花、小手鞠、雪柳を交互に植えました。花の盛りは見事で近隣の人達が花見に訪れ、広いロビーでお茶会、ありあわせのお菓子で楽しいひととき、忘れられない思い出です。主人が七十五歳、私が七十歳になるまで十年間働きました。作業は苦しくても、喜んで来館される方達を迎える事が何よりの生き甲斐でした。大阪に戻った今も桜の咲く四月中頃には必ず子供達と花見に行きます。苦しかった昔の事も忘れ、大きく育った桜や花々を愛でる楽しみが増しました。あと何年行けるかわかりませんが、元気で健康を維持したいと頑張っています。

大正区 ユリッペンさん

おたよりへの感想・お返事など、交流の場としてご利用下さい